

# いしかわ まちづくり View

No.33



## 目次

- 特集
- 新・景観元年 ..... 1
- ～条例施行から「実行」へ～
- あのみち、このまち「まちづくりめぐり」
- ・「飯田わくわく広場」
- 珠洲の新しい交流スポットが人気です。 ..... 5
- ・「輪島市門前町黒島地区」の取り組み ..... 6
- ・白山ろくテーマパークに「大巻どんと橋」が完成 ..... 7
- まちづくりの動き
- ・「近江町いちば館」グランドオープン ..... 8
- センターだより..... 9

## 特集 新・景観元年

— 条例施行から「実行」へ —

### 1. 景観形成施策の推進

#### (1) 景観形成施策の展開

美しい石川の景観づくりを推進するため、全国で初めて既存の「景観条例」と「屋外広告物条例」とを一本化した「いしかわ景観総合条例」を平成21年1月1日に施行しました。

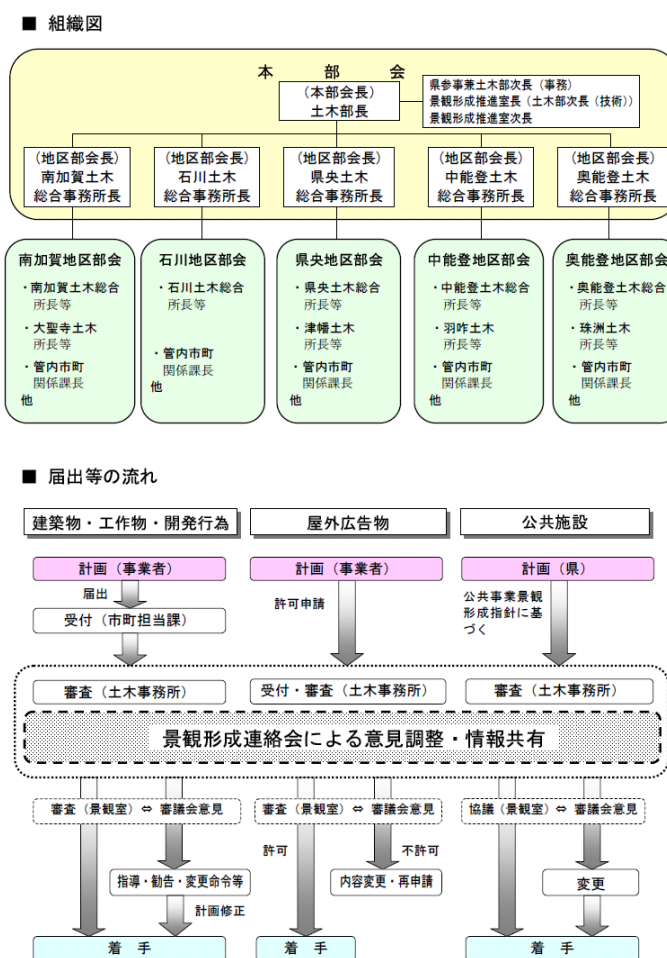
この条例を拠り所に、市町を超えた広域的な景観づくりを推進するとともに、白山などの眺望景観や、景観や環境に配慮した屋外広告物であるエコサインの設置を推進することとしています。

平成21年度は、新・景観元年として、「条例施行から実行」へということで、ハード、ソフトをからめた施策を官民協力で推進することとしており、美しい景観づくりの施策として、新たに「美しい石川の景観づくりプロジェクト」として、「街なみ景観魅力アップ整備事業」による無電柱化を核とした総合的な景観形成を進めることとしています。

#### (2) 石川県景観形成連絡会

円滑な景観行政を推進するため、届出の窓口である市町や土木事務所からなる景観形成連絡会を設けて、現地での指導連絡体制を組織することとしています。

景観行政における課題、関係機関における施策や取組の事象について、情報共有・意見交換等することにより、関係機関相互の連携を深め、良好な景観形成に取り組んでいます。



### いしかわ景観総合条例施行に伴う景観形成施策の展開



【問い合わせ先】 石川県土木部都市計画課  
景観形成推進室  
TEL : 076-225-1759

## 2. 街なみ景観魅力アップ整備事業について

### (1) 背景と取り組み方針

石川県では、平成26年度に予定されている北陸新幹線の金沢開業効果を最大限に引き出し、観光客を含めた交流人口の拡大を目指しており、その受け皿となる「街の魅力づくり」を進めることとしています。

このため、景観を悪くしている最大の要因といわれている「電柱・電線類」を道路空間から排除するだけでなく、「いしかわ景観総合条例」を積極的に活用して屋外広告物の規制や誘導を行うとともに、沿道に面した建物の保全や修景ならびに舗装や照明、緑化などの道路修景を行う総合的な景観形成に取り組むこととしています。

### (2) 重点モデル地区

平成21年度から新たに「街なみ景観魅力アップ整備事業」に着手し、重点モデル6地区の整備を進めることとしています。

重点モデル地区一覧表	
路線名	摘要
専光寺野田線(寺町)	歴史的・文化的地区
小立野線(小立野・石引)	歴史的・文化的地区
栗津街なか線(栗津温泉街)	温泉街地区
片山津中央線(片山津温泉街)	温泉街地区
和倉港和倉駅線(和倉温泉街)	温泉街地区
本町線(穴水町)	商店街地区

### 総合的な景観形成に取り組む要素

#### ●道路空間

沿道空間との調和、魅力づくり、地域住民との協働が必要

#### 景観要素

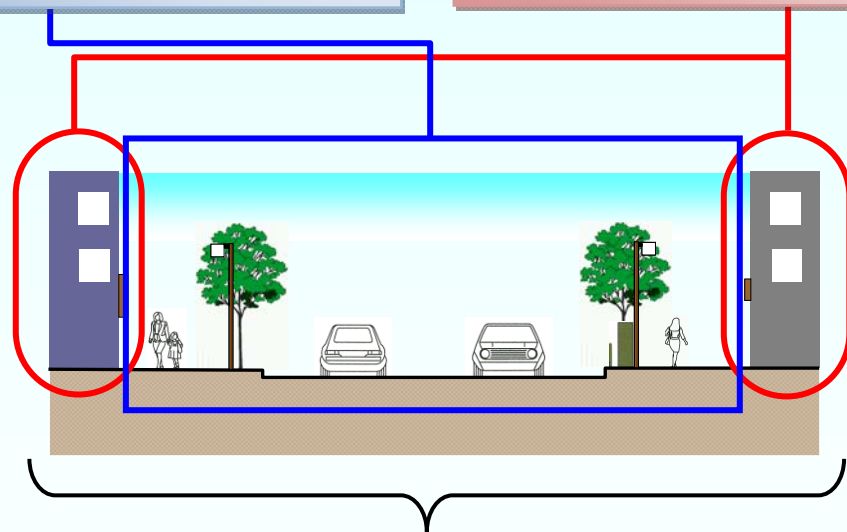
- 無電柱化
- 舗装材
- 標識及び公共広告物
- 照明施設
- 緑化等

#### ●沿道空間

建物や屋外広告物に関するルールづくりが必要

#### 景観要素

- 建物 位置 形態・意匠 色彩 材料
- 屋外広告物等
- 植栽等



#### 街なみ全体

地域特性を踏まえ、道路空間と沿道空間のバランスと調和の取れた景観づくり

- 全体のバランスと調和(道路・沿道それぞれの空間のバランスと調和)
- 見通し(眺望)
- 空間利用(祭やイベント、市など各種まちづくり活動による利用)

### ○ 専光寺野田線(寺町)

#### ～歴史的・文化的地区～

専光寺野田線の寺町周辺は、寺町寺院群をはじめ天然記念物「松月寺の大桜」や六斗の広見など歴史的な街なみが残っており、多くの観光客が訪れる地域であります。

寺院群が醸し出す重厚で落ち着いた歴史景観に付加価値を与えるためにも、地元住民や金沢市と連携を図りながら、無電柱化や歩道のバリアフリー化にあわせて街路灯の整備や歩道舗装の修景など景観整備を行うこととしています。

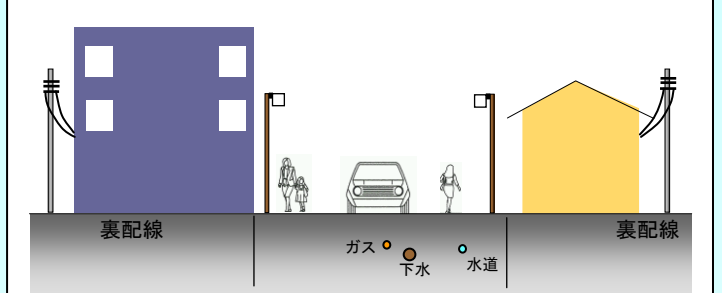


### (3) 無電柱化のコスト縮減において

地域の特徴に合わせた整備手法を導入し、コスト縮減を図りながら、無電柱化を進めることとしています。

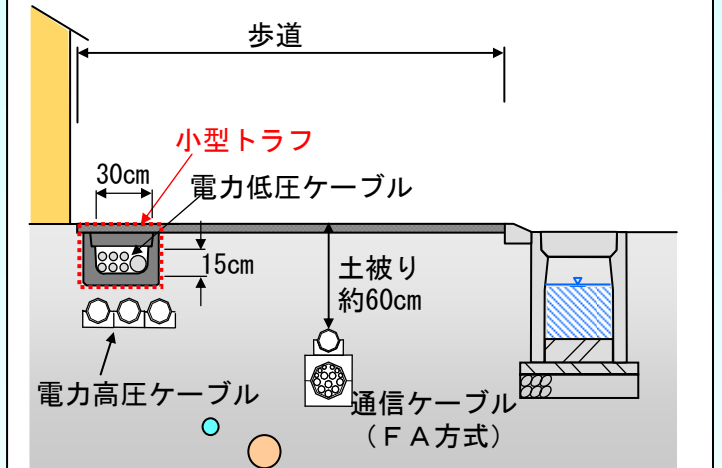
#### ○ 裏配線方式

##### ～通りの裏側に電線・電柱を架設～



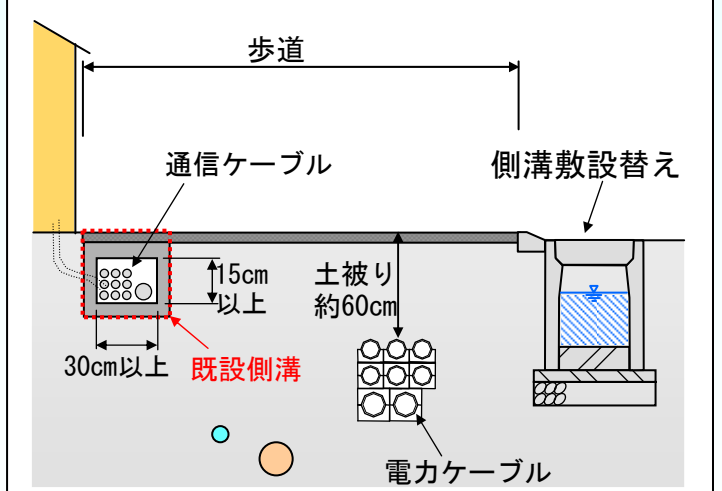
#### ○ 小型トラフ方式

##### ～電線を浅く埋設～



#### ○ 既設側溝活用方式

##### ～既存側溝に電線を配置～



【問い合わせ先】石川県土木部都市計画課  
街路・都市交通G  
TEL : 076-225-1758

# 「飯田わくわく広場」 珠洲の新しい交流スポットが人気です。

## ■ 11年余の歳月を経て完成

能登半島の最先端に位置する珠洲市の中心市街地である飯田地区に新しい交流スポットが誕生しました。それは、シンボルロード「春日通り線（飯田側）」と隣接する「わくわく広場」です。



—完成した「春日通り線（飯田側）」と「わくわく広場」—

この事業は、平成9年12月、「珠洲・都市ルネッサンスまちづくり推進委員会」の発足からスタートしました。春日通り線は、「燈籠山まつり」の舞台として参道をイメージし、沿道建物は「じんの燈」をテーマにまちなみ協定を締結し、道路と沿道建物が一体となった空間となりました。

推進委員会発足から11年余りの歳月を経て、平成21年5月2日、谷本知事をはじめ、来賓、市民ら約3,000人が完成を祝福し、賑わいました。当日は、高さ16m超の燈籠山が登場し、幅広歩道には飲食・物産テントが立ち並びました。



—完成のテープカット—

## ■ 大人気の足湯

これまで道路消雪用として使用していた井戸を「わくわく広場」の足湯として再利用し、人気を集めています。晴れた日には、平日で50~60人、土日には100人以上と、お年寄りから子供まで珠洲市内外から多くの人が訪れ、憩いと語らいのスポットとなっています。



—人気の足湯施設—

## ■ 市民による施設運営へ

「わくわく広場」は、上屋のある小ホールと長さ24mの東屋に囲まれた屋外広場で構成する箱庭的な空間です。オープン直後から、音楽コンサートや和太鼓演奏会など多彩なイベントが市民からの企画で行われています。今後は、地元住民らによる運営委員会を立ち上げ、市民による施設運営を実施していく予定です。

「燈籠山まつり」が7月20~21日に開催され、念願だった「燈籠山」を春日神社から海岸へ曳くことができ、盛大なものとなりました。幅広歩道には沢山の露天が並び、車の通行を気にすることなく朝から夜まで多くの人通りで賑わいました。

ぜひ、珠洲の新しい交流スポットに来て下さい。

【問い合わせ先】 石川県土木部都市計画課

TEL : 076-225-1758

Eメール : gairo@pref.ishikawa.lg.jp

# 「輪島市門前町黒島地区」の取り組み

## ■黒島地区とは

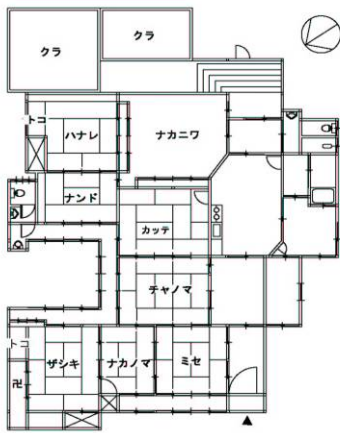
黒島地区は江戸時代中期から明治中期にかけて北前船の根拠地として栄えた地域です。当時の道路や敷地割をよく残し、街道沿いを中心に県指定文化財である角海家住宅のほか、廻船問屋や北前船主の邸宅が立ち並んでいます。



黒島地区の街並み



県指定文化財の角海家住宅（現在改修工事中）



代表的な「黒島廻船問屋型」の間取り

## ■街なみ環境整備事業の実施

黒島地区の自然や歴史的風致を地域の財産として保存するとともに、文化交流・生涯学習・情報発信の場として積極的に活用し、黒島地区の生活環境の改善の向上を図ることを目的に、生活環境施設・修景施設・地区防災施設等の整備を行います。（現在、計画策定中）

## ■重要伝統的建造物群保存地区への指定

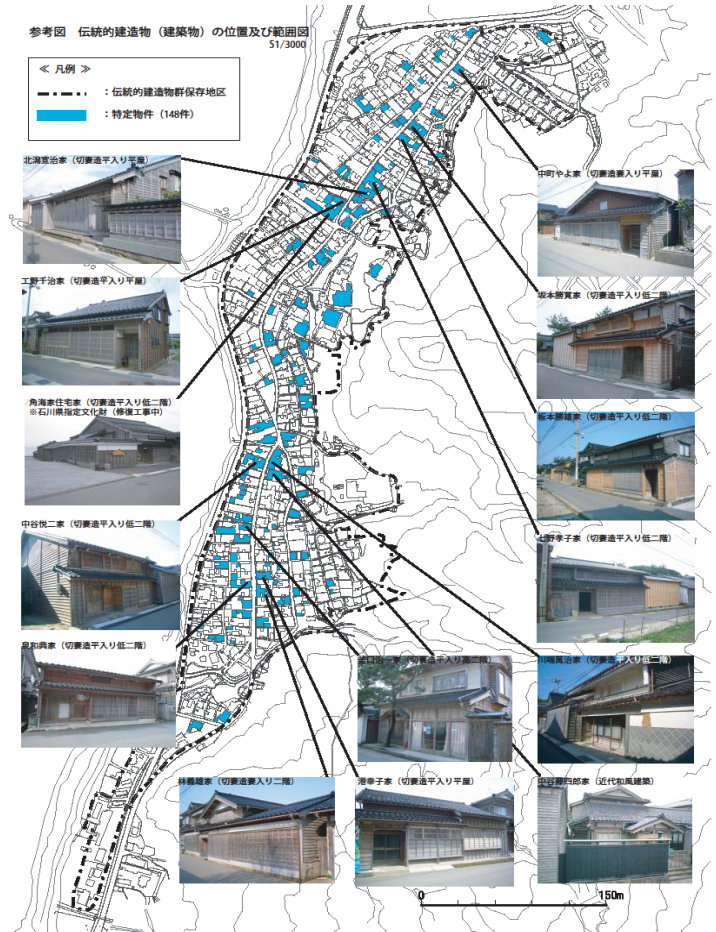
「伝統的建造物群保存地区（略して伝建地区）」は周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を対象に、地区全体を文化財として指定し、保存していこうという制度です。また、全国の伝建地区の中で特に価値の高いものが「重要伝統的建造物群保存地区（略して重伝建地区）」に指定されます。指定により、修理・修景・防災事業等への経費補助や税制優遇などの財政的支援と技術的指導を受けることができます。

黒島地区は選定基準の（二）に該当し、平成 21 年 6 月 30 日に重伝建地区に指定されました。

### 重要伝統的建造物群保存地区選定基準

伝統的建造物群保存地区を形成している区域のうち次の各号の一に該当するもの

- （一）伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- （二）伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているもの
- （三）伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの



# 白山ろくテーマパークに「大巻どんど橋」が完成



白山ろくテーマパークは、白山麓地域の豊かな自然や歴史、文化等を活かした県民の広域レクリエーションの場を整備し、都市地域と白山麓地域との交流により、地域の活性化を図る拠点公園として計画し、平成5年度から整備を進めてきました。

今回完成した、「大巻どんど橋」は、手取川右岸の「白山ろくテーマパーク吉野地区」と左岸の「バードハミング鳥越」を吊橋により結び、施設の一体利用、相互の回遊性向上を図るため、石川県が事業主体で、平成18年度から平成20年度にかけて整備してきました。

「大巻どんど橋」は、幅員2.0m、全長96.0m、構造は、外ケーブル併用PC吊床版橋と呼ばれ(縦断勾配の軽減、耐風安定性の向上等が特徴です)バリアフリーに対応し気軽に渡れるようになっています。この種類の橋は、透過性が高く自然環境と調和するスレンダーな構造で、周辺の自然公園区域にも配慮した構造になっています。また、照明は、夜間景観に配慮したものを採用しています。

橋の名前は、このあたりを鳥越側では「大巻」又は「巻んの」、吉野側では「どんど」と呼んでいたことから命名しました。

さらに、フリーテントサイトのオープンも予定していますので、今年の夏は、日本でも数少ない形式の吊橋からの白山や手取川の眺望、バーベキューや温泉、キャンプを楽しみに、白山ろくテーマパークに遊びに来ませんか。



■詳しいお問い合わせ先

◇白山吉野オートキャンプ場

TEL:076-255-5353

FAX:076-255-5352

E-mail:8936-tp@mukougawa.co.jp

URL:<http://www.asagaotv.ne.jp/~h-tp/>

## まちづくりの動き

### 武蔵ヶ辻第四地区第一種市街地再開発事業

# 「近江町いちば館」グランドオープン

#### ■ 事業の目的

当地区は、金沢市の都心軸の中間に位置し、藩政期以来約280年の長きにわたり、交通・商業の要衝として栄えてきました。その一角を成す近江町市場は、金沢市民の台所として親しまれてきました。

しかし、近年多様化する消費者ニーズへの対応の遅れや、郊外における大型商業施設等の出店による商業活力の低下、更には、防災上の危険性や、むさし交差点の交通渋滞が問題となってきました。

このため、関係権利者を中心とする方々の熱意により、市街地再開発事業の機運が高まり、平成17年に市街地再開発の事業計画認可を受けました。

そして平成19年に本体工事に着手し、平成20年12月の1階市場の仮オープンを経て、平成21年4月16日にグランドオープンにいたしました。

この再開発事業により、市場の持つ伝統を維持しつつ新たな商環境の再生と集客の向上を図り、合わせて密集市街地の解消と良好な都市空間の創出が図られるとともに、国道の拡幅や地下道の新設など公共施設の整備により、中心市街地活性化、市街地の防災性の向上や交通機能の向上等に大きく寄与するものと考えています。



従前写真（平成19年1月）

#### ■ 当事業の特徴

- ① 既存の商店街の風情を保全しながらの市場再整備
- ② まちなかの学習、市民交流の場での3,4階の活用
- ③ 北國銀行武蔵ヶ辻支店の保存活用

#### ■ 事業の概要

事業名：武蔵ヶ辻第四地区第一種市街地再開発事業

- ・ 施 行 者：武蔵ヶ辻第四地区市街地再開発組合
- ・ 所 在 地：金沢市下堤町、青草町の一部
- ・ 区域面積：約0.9ha
- ・ 事業年度：平成17年度～21年度
- ・ 総事業費：約56.6億円

#### ■ 建物の概要

- ・ 敷地面積：4,827.49㎡
- ・ 延床面積：17,349.81㎡
- ・ 階 数：地下1階、地上5階建て
- ・ 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- ・ 主要用途：市場・商業・銀行・公益・業務施設、  
駐 車 場
- ・ 駐 車 場：96台



施行区域図（1階平面図）



完成写真

（石川県土木部都市計画課）

# センターだより

『(財)いしかわまちづくり技術センター』が誕生し1年が経過しました。今年度も当センターではまちづくりに関する様々な事業を展開する予定です。

## まちづくり情報の提供

### ○まちづくりライブラリー

- ・まちづくりや都市計画の専門図書 約 800 冊
- ・閲覧・貸出を行っております。お気軽に当センターへお立ち寄りください。

### ○いしかわまちづくり View

- 県内のまちづくり情報紙を発行します。  
(年2回、ホームページ掲載)

## まちづくりの啓発・普及活動

### ○まちづくり専門家の派遣

- ・まちづくりの講習会などに講師を派遣します。
- ・講師の旅費・謝金の一部を助成します。

### ○いしかわこどもの未来創造まちづくり事業

- ・子供達がまちやまちづくりを学ぶための活動を支援します。
- ・今年度も6件のまちづくり学習に活動費を助成します。

### ○街並み・まちづくりシンポジウム

- ・まちづくりに関するシンポジウムを開催します。
- ・今年度は加賀市片山津温泉で「温泉まちづくり」をテーマに開催予定です。

## まちづくり支援業務の受託

県や市等から公共事業に係るまちづくり協議会の運營業務を受託し、まちづくりに関する調査、計画等の立案を行っております。



▲ まちづくりライブラリー



▲ 専門家の派遣



▲ こどもの未来創造まちづくり事業



▲ まちづくり研修会



▲ まちづくり支援 (視察研修)

## 編集後記

平成21年度からまちづくり技術センターに来ました岩端です。少しでも皆様のお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

今回は「新・景観元年」ということで、景観に関する施策について特集しました。まちづくりと景観は大変重要な関係だと思えます。屋外広告物をご計画の際には、ぜひ「いしかわエコサイン」の認定を目指してみませんか？

編集協力：石川県都市計画課  
発行：(財)いしかわまちづくり技術センター  
TEL 076-232-2255 FAX 076-232-2532  
HP <http://www.machisen.jp/>  
発行日：平成21年8月